

令和5年度 学校自己評価システムシート (県立大宮東高等学校)

目指す学校像	安全・安心な環境の下、文武両道を旨とし、正義感溢れる心身ともに健康な生徒を育てる学校
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の能力を最大限に引き出す授業を実践し、自主学習する習慣を確立させ、確かな学力の定着を図る。 2 組織的・計画的なキャリア教育を通して、生徒が主体的に「一つ上」を目指し進路を実現できる能力を培う。 3 生徒指導の充実と部活動等の活性化を図り、安全・安心な環境の下、高い規範意識と豊かな人間性を持った生徒を育成する。 4 保護者や地域と密接に連携し、地域に信頼される開かれた学校づくりをする。
------	---

達成度	A ほぼ達成(8割以上)
	B 概ね達成(6割以上)
	C 変化の兆し(4割以上)
	D 不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	12名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<p>【現状】ICTを活用した授業改善で授業へ主体的に参加する意識は向上したが、満足度、理解度は減少。学習の習慣化が図れず、自主学習時間が少ない。</p> <p>【課題】自主学習習慣化のため授業を充実させ、より一層の基礎基本の定着を図る。具体的でわかりやすい課題を作成し、iPadを最大限活用する。各教科・各学年の組織的な取組が課題である。</p>	ICTを活用した授業改善に取り組み、生徒の学習意欲の向上と、主体的な学習習慣の確立を図る。	<ol style="list-style-type: none"> ①全教科でICT環境を積極的に活用し、本校生徒の実態に即した「主体的・対話的で深い学び」の実践する。 ②研修会、授業見学、教科会等を活用し、授業改善を進める。 ③iPadの活用(1,2年生)と隙間時間や、家庭等での自主学習に取り組みやすい教材・課題作成を検討し、併せて保護者の協力も促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲の向上と授業満足度に係るアンケートの結果 ・研修会の実施状況と各教科での授業改善状況 ・アンケートによるiPadの活用状況把握 ・アンケートによる生徒の自主学習時間の状況把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートでは、学習の主体的取組度87.9%(+7.5)、授業満足度87.9%(+1.7)と増加。授業がわかるは横ばい。 ・ICTの活用をテーマに授業研究週間(6,11月)、相互授業観察を実施。 ・授業内でiPadが活用できている98.1%。授業満足度は81.2%であった。活用場面上位2項目は、授業中(95.9%)、家庭学習中(63.5%)。 ・テスト前以外の自主学習時間は、0～30分が78.4%で、理由は帰宅時間の遅さ、学習する気持ちになれないが多かった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習の習慣化には授業の充実による基礎基本の定着が引き続き不可欠である。 ・部活動等との両立に向け、iPadを活用しながら、家庭においても主体的に取り組めるような手立てを工夫する。 ・授業におけるICT機器の活用を一層進めるために各教科・各学年の組織的な取組を推進する。
2	<p>【現状】進路決定率は高く、一般受験や不合格となってもチャレンジ続ける生徒が増えている。国立大学受験に向けて、共通テストまで頑張った生徒が10名(+2)と増加。国公立大学に合格。公務員試験に関して、14名が17件合格。</p> <p>【課題】「一つ上」を目指す生徒の意識醸成と、教職員の進学、進路(公務員)問わず多様な進路希望に応える指導を研究、実践が課題である。</p>	生徒の可能性と主体性を引き出し、部活動で培った「やり抜く力」をベースに生徒に「一つ上」の高い進路意識を醸成させ、サポートする。	<ol style="list-style-type: none"> ①3年間を見通した組織的かつ継続的な進路指導を行い、進路意識を高めさせ主体的な進路実現を促す。 ②多様な大学入学者選抜等への対応と、全ての生徒に「一つ上」の進路実現に向けた指導の推進する。 ③教員の指導力向上と、生徒の「やり抜く力」を培い、最後まで進路をあきらめない生徒の育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路行事と分野別指導・説明会等の実施状況。進路だより等の啓発資料の発行状況 ・生徒、保護者進路指導満足状況。補習・面接・小論文等の指導実施状況 ・職員の研修会実施状況や入試選抜対策への対応状況、模試や学びの基礎診断の分析と活用、キャリアパスポート(NOLTY手帳)の活用状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路行事、進路だより、啓発資料発行を計画通りに実施・発行した。 ・多様な入試制度を活用し、高い目標(155件)に向け挑戦し、推薦で駒野大、文教大等に合格した。 ・進路指導満足度は、満足している生徒が75.5%、保護者は78.3%と横ばい。低い生徒からは個別指導の充実への要望が挙がっていた。 ・教員の指導力向上のための研修会、テスト結果分析会を実施した。 ・キャリアパスポートを活用し進路行事を開催、進路意識向上を図った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者からは、多様化する進路希望に対応した組織的だった指導の充実と個別指導が求められている。 ・引き続き、進路意識を高めさせ、個々の主体性を引き出し、より多くの生徒に「一つ上」の進路を実現させることができるかが課題である。
3	<p>【現状】登下校時の事故、交通マナーに関する苦情はともに減少。部活動では、コロナ禍ではあるが感染対策徹底により各大会に出場し、複数の部活動が関東大会や全国大会入賞を果たすことができた。</p> <p>【課題】苦情等を受け止め、生徒の交通マナー遵守、交通事故ゼロに向け、一層の意識付けを徹底する。コロナ明けの生徒主体の適切な部活動指導と、積極的に学校行事に取り組みませ生徒の主体性育成に繋げることが課題である。</p>	多様な生徒に対して、生徒理解と人権を尊重し、適切な指導を通して生徒の自己指導能力を向上させる。	<ol style="list-style-type: none"> ①全職員の共通理解のもと、保護者と連携した指導・支援を通し、生徒自身のよき変化を促す ②多様な生徒を受け止める指導体制の充実 ③県警指定の自転車マナーアップ推進校の事業を効果的に推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートによる意識把握 ・SC,SSM、特別教育支援委員会、相談委員会等の活動状況 ・集会等での講演会やiPad(1,2年生)を活用してのマナーアップと職員・保護者による立哨指導の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートによると、生徒指導が適切が74.8%、交通マナーを守っているが90.5%。 ・生徒への指導、支援は教職員・保護者の連携のもと年間を見通し概ね実施できた。 ・5月、7月に大宮東警察署と連携し、交通事故防止啓発運動を実施した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・外部からの要請の中には、より一層の規範意識を高めさせなければならないものもあり、担任・学年・部活動顧問の連携を進め、地域社会に信頼される学校づくりに努める。 ・生徒の交通マナー遵守と交通事故ゼロに向けては、地域、保護者・警察等との連携を一層深める。 ・多様な生活状況にある生徒の実情を受け止め、問題行動等の未然防止に向けた支援充実が必要である。 ・各行事を通して、生徒の主体性・人間関係調整力の向上に繋げることも課題である。
4	<p>【現状】説明会では生徒主体で本校の魅力アピールできたが、志願倍率の増加にはもう少しである。近隣施設等との交流はコロナ禍前と同様にできないものがあった。</p> <p>【課題】説明会の形式や内容を更に充実させ、本校の特色、魅力の発信方法を工夫検討する。地域交流はコロナ明けの新たな展開を検討し、より地域に開かれた学校を目指すことが重要である。</p>	「建学の精神」を継承し、時代の変化を捉えた本校の良さを積極的に発信し、生徒募集につなげるとともに、コロナ後の地域に開かれた学校づくりを推進する。	<ol style="list-style-type: none"> ①ホームページの動画や学年、部活動の紹介の充実。Twitterでの発信、学校説明会開催において「がんばる大東生」を発信し、本校への理解と関心を浸透させる。 ②開かれた学校づくりに推進するたため、コロナが感染状況に応じて近隣施設等との交流・奉仕活動を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやTwitterの更新回数やアクセス数 ・学校説明会の参加者数やその満足度と好感度及び入学志願者数 ・近隣施設等との交流、ボランティア活動等の地域交流の推進状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPのアクセス数は677,721(-6.7)。更新回数(347(+1.8%))であった。 ・学校説明会は在校生も参加し、生徒の様子がよく理解できた好評であった。参加者は今回も昨年度より増加(42.0)、各行事満足度の平均は92.8%であった。 ・各行事は感染対策を徹底し予定通り開催。活動制限等もなく当初の目的を達成することができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・HPや緊急メールは情報発信の重要な機会として、引き続き内容の精査・充実を図る。 ・欠席、遅刻連絡も学校HPから直接入力が可能となった。引き続き保護者とのスムーズな連携方法を模索していきたい。 ・コロナ禍における自粛も解除され、近隣施設や学校、大学等との交流・連携も徐々に復活し、加えて体験活動も実施することができた。地域との連携を一層密にし、開かれた学校づくりをさらに進め、「がんばる大東生」の姿を積極的にPRしていく必要がある。

学校関係者評価	実施日 令和6年1月29日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果からも、基礎基本の定着、学習の主体性喚起を目指し授業改善を進めていることや1、2年生の授業内でのICTの活用が進んでいることが評価できる。引き続き取り組んでいただきたい。 ・学習時間については、昨年年度につき続きの課題。生徒自身が部活動と両立できる生活スケジュールを立て、どう取り組んでいくかなど、個々に学習へのこだわり方を考えさせることよいのではないかと、毎日の自主学習時間という量的ものだけでなく、どう勉強の仕方・どのような時間の割き方をしているか、質的な評価指標を検討していくことよいのではないかと、以上から、評価は妥当である。 ・アンケート結果からも、個別指導のさらなる充実が求められているが、進路実績に成果がみられ、取組の評価はできる。 ・多様化する進路実現のためには、生徒・保護者が共通認識を持ち取り組む。特に保護者と連携していくためには、情報提供をする機会を増やしてほしい。保護者を活性化していくことも大事ではないかと。 ・個別指導と合わせて、生徒の主体性を引き出していけるような関わり、評価項目1)にある取組のような、着実に基礎力を身に付けるための指導の充実が必要である。 以上から、評価は妥当である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識、交通マナー等については、問題点が増えてきているという状況ではないと思うが、必要な指導は引き続き行っていただきたい。指導においては、守らない点だけをなく、どうすれば守っているか、生徒全員に投げかけ取り組み、改善の方向となるよう働きかけていただきたい。 ・生徒が自ら考え行動できるようにすることも重要。例えば、校則の在り方について、生徒に問いかけさせてもらうといった、時代に即した指導をしていくことが必要である。 以上から、評価は妥当である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動については、実績や、生徒満足度を維持できていることは評価できる。今後は、様々な事情で部活動をやめてしまう生徒がいる実施も踏まえ、その生徒たちが確実感を持たないような環境づくりや、学校生活を満足できるような活躍の場を生徒・教員一体となって作っていただくこともお願いしたい。 ・部活動以外にも、挨拶が出すきっかけとなるなどの生徒の良い点をもっと前面に出す取組を今後期待している。 以上から、評価は妥当である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には、確実な情報提供して頂く観点も必要。緊急メールだけでは見逃すこともある。HP等伝わりやすいツールを活用し、保護者が常時アクセスして情報を得られる場を作っていくようにすることよいのではないかと。 ・大宮東高校の広報は多くある。強みを、生徒たちを巻き込みながら広報していくことが必要である。 また、学校説明会だけでなく、例えば中学2年生を対象に高校の授業を体験させるというように、多様な機会を作っていくことも一つの方策としてあってよいのではないかと。 ・地域等との連携事業は、生徒をってもらう貴重な機会であるため、引き続き活発に行っていたいただきたい。 以上から、評価は妥当である。